

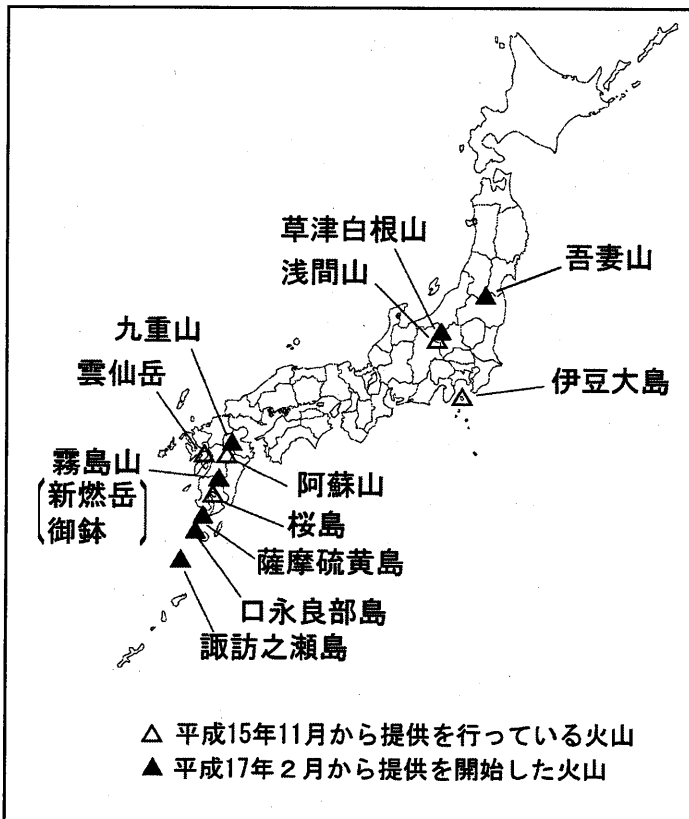
火山活動度レベルの導入

気象庁

気象庁では、火山活動の状況が容易に理解できるよう、火山噴火予知連絡会の協力を得て、火山情報への火山活動度レベル（火山活動の程度及び防災対応の必要性を0～5の数値で表現（第1表））の導入を進めており、平成15年11月4日より浅間山、伊豆大島、阿蘇山、雲仙岳、桜島の5火山について導入を行った。これらの火山の火山活動度レベルは、地元の防災機関により、登山規制、住民等への火山活動状況の周知等の防災対応をとる上で活用されている。

その後、近年の火山活動等を考慮し、新たに吾妻山、草津白根山、九重山、霧島山（新燃岳及び御鉢）、薩摩硫黄島、口永良部島、諏訪之瀬島の7火山を選び、火山噴火予知連絡会の協力のもと火山活動度レベルの検討を行うとともに、地元防災機関等とその内容や防災対応への活用方策について協議を進めてきた。これら7火山について、提供に向けた準備が整ったことから、平成17年2月1日から、火山活動度レベルを火山情報に付加して提供する業務を開始した。

これにより、火山活動度レベルを提供する火山は12火山となった（第1図、第2表）。気象庁では、これ以外の火山についても、火山活動度レベルの導入を順次進めていく予定である。



第1図 火山活動度レベルの提供を行っている火山

第1表 一般的な火山活動度レベルの区分

| レベル | 火山の状態 |
|-----|----------------|
| 5 | 極めて大規模な噴火活動等 |
| 4 | 中～大規模噴火活動等 |
| 3 | 小～中規模噴火活動等 |
| 2 | やや活発な火山活動 |
| 1 | 静穏な火山活動 |
| 0 | 長期間火山の活動の兆候がない |

(注) 上記区分は一般的な指標であり、実際の区分は火山毎にやや異なる。

第2表 各火山の火山活動度レベル（平成17年2月1日現在）

a) 浅間山

| レベル | 火山の状態 | 噴火の形態 | 過去事例 |
|-----|--|--|---|
| 5 | <p>広範囲まで及ぶ大規模噴火が発生または可能性</p> <p>遠方まで火砕流または溶岩流が到達して広域に影響するような大規模噴火が発生。</p> <p>または</p> <p>上記のような噴火の可能性はある。</p> | <p>山麓まで噴出物が降下、溶岩流の流出、火砕流の発生の可能性はある。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・天仁、天明の大噴火（山麓まで火砕流、岩屑なだれ） |
| 4 | <p>山麓まで及ぶ中～大規模噴火が発生または可能性</p> <p>遠方まで噴石が飛散、あるいは火砕流または溶岩流など、居住地まで影響するような中～大規模噴火が発生。</p> <p>または</p> <p>上記のような噴火の可能性はある。</p> | <p>山頂火口から3 km以遠、山麓まで噴出物降下、空振の影響の可能性はある。</p> <p>小規模の火砕流もあり得る。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・1950年9月23日の噴火（火口から8km以上離れた場所に噴石） ・1973年の噴火 |
| 3 | <p>山頂火口で小～中噴火が発生または可能性</p> <p>小～中規模噴火が発生。</p> <p>または</p> <p>地震が群発したり、火映、鳴動が観測されるなど小～中規模噴火の発生の可能性はある。</p> | <p>山頂火口から2～3 km程度以内まで、噴石を飛散したりごく小規模な火砕流を伴う噴火もあり得る。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・1983年4月8日の噴火（空振で山麓のガラス等に被害） ・2000年9月、2002年6月の地震群発 |
| 2 | <p>やや活発な火山活動</p> <p>噴煙がやや多くなったり、火山性地震が時々多発、微動が発生するなど火山活動がやや活発である。</p> <p>火山性ガスの顕著な放出。微小な噴火（火山灰の放出など）の発生または可能性はある。</p> | <p>山頂火口付近に微量の火山灰の噴出もあり得る。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・2002年5月以降の噴煙活動の活発化、火口の温度上昇 ・1990、2003年の微噴火 |
| 1 | <p>静穏な火山活動</p> <p>噴煙は比較的少なく、火山性地震の群発が時折発生するもののその規模は小さく、火山性微動の発生も少ない。</p> | <p>噴火可能性低い。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・静穏な活動期 |
| 0 | <p>長期間火山の活動の兆候なし</p> <p>噴煙がなく、火山性地震・微動もほとんど発生しない。</p> | <p>噴火可能性なし。</p> | |

b) 伊豆大島

| レベル | 火山の状態 | 噴火の形態 | 過去事例 |
|-----|---|--|---|
| 5 | <p>全島に影響が及ぶ大規模な噴火の発生または可能性 大量、大規模のマグマの上昇、噴出または広範囲に影響する噴火の可能性。</p> | <p>噴出物の影響が全島に及ぶ可能性がある。</p> | <p>安永大噴火 1986年山腹割れ目噴火（C火口列の噴火）、マグマ水蒸気爆発の可能性により全島避難</p> |
| 4 | <p>中規模噴火が発生または可能性 規模のやや大きな山頂噴火 山頂火口以外での噴火発生 割れ目噴火 または 顕著な地殻変動など、大規模噴火に移行する可能性がある。</p> | <p>噴石や溶岩がカルデラ外にも飛散あるいは流出の可能性はある。</p> | <p>1986年割れ目噴火（B火口列の噴火）</p> |
| 3 | <p>山頂火口での小規模な噴火発生または可能性 火山性微動の増加、振幅増大など。山頂を震源とする浅い地震の多発。新たな噴気の発生、火映現象等。 小規模な噴火発生、若しくは、マグマが地表付近に上昇したか、その可能性がある。</p> | <p>山頂火口でストロンボリ式噴火、溶岩が火口を満たした場合は、カルデラ内に流下する可能性がある。 噴石等の噴出は概ねカルデラ内に限定される。</p> | <p>1986年11月15日の噴火 1987、1988、1990年の噴火 1974年の噴火 1960年代の噴火 1950、1951年の噴火</p> |
| 2 | <p>やや活発な火山活動 規模の小さな火山性微動の発生、火山性の地震の多発。 マグマの上昇の可能性（きざし）。</p> | <p>噴火活動への移行段階（準備段階）の可能性はある。</p> | <p>1986年4月の地震多発 1986年7月の微動開始</p> |
| 1 | <p>静穏な火山活動 火山性地震は時々発生するが、継続しない。火山性微動が発生しないか、発生しても非常に低頻度。山体のわずかな膨張が長期間にわたってみられることがある。</p> | <p>噴火の可能性は低い。</p> | <p>1976～1985年の状態 1994年以降現在までの状態</p> |
| 0 | <p>長期間火山の活動の兆候なし 長期にわたり、噴気、噴煙がなく、火山性地震、微動がほとんど発生しない。</p> | <p>噴火の可能性なし。</p> | <p>観測開始以降事例なし</p> |

c) 阿蘇山

| レベル | 火山の状態 | 噴火の形態 | 過去事例 |
|-----|--|--|--|
| 5 | 大規模な噴火が発生または可能性 有史以降、事例はないが、中岳以外の噴火を含めた大規模噴火が発生、または発生する可能性があり、広域災害の可能性のある状態。 | 大規模な噴火により広域に噴出物等による影響の可能性はある。広域で嚴重な警戒。 | 有史以来事例なし |
| 4 | 中規模噴火が発生または可能性 噴石等が火口からある程度離れた地域まで飛散もしくは飛散する可能性がある状態。 | 中規模噴火により火口からある程度離れた地域(火口から1km以上)に噴石等が飛散する可能性がある。火口からある程度離れた地域でも警戒。 | 1933年2月24日の爆発(窓ガラス破損、噴石飛散距離約1.3km) 1958年6月24日の爆発(死者12、家屋全壊5、噴石飛散距離約1.3km) 1965年10月31日の爆発(建物被害、噴石飛散距離約1.2km) 1979年9月6日の爆発(死者3、建物被害、噴石飛散距離約1.2km) 1990年4月20日の噴火(多量の火山灰により電力(絶縁不良)被害、農作物被害、交通災害、噴石飛散距離北側約1.0km) |
| 3 | 小規模噴火が発生または可能性 噴石等が火口縁周辺に飛散もしくは飛散する可能性がある状態。 | 小規模噴火により火口縁周辺(火口から1km未満)に噴石等が飛散する可能性がある。火口に近い地域は注意。 | 1977年の活動(土砂噴出、降灰、噴石) 2004年1月14日(土砂噴出、降灰)等 |
| 2 | やや活発な火山活動 火山性地震・微動の増加、湯だまりの変化、小規模の土砂噴出、少量の有色噴煙等、火山活動がやや活発化している状態。 | 噴火活動期への移行段階の可能性はある。火口内にとどまる小規模な土砂噴出等の可能性はある。 | 2002年8月11日～9月18日の活動で孤立型微動、火山性地震が増加等 |
| 1 | 静穏な火山活動 火口内は緑色の全面湯だまりで、少量の噴気活動や火山性地震・微動が発生するものの、噴火の兆候がない状態。 | 噴火可能性低い。 | 通常のレベル |
| 0 | 長期間火山活動の兆候なし 長期にわたり、噴気活動、火山性地震・微動の発生もほとんど見られない状態。 | 噴火可能性なし。 | 観測開始以降事例なし |

d) 雲仙岳

| レベル | 火山の状態 | 噴火の形態 | 過去事例 |
|-----|---|---|---|
| 5 | <p>極めて大規模な噴火または大規模な火砕流が発生か可能性</p> <p>大規模噴火、または海岸に達する程度の火砕流が発生、または発生する可能性があり、広域災害の可能性のある状態。</p> | <p>極めて大規模な噴火、または大規模な火砕流により広範囲に噴出物が降下する可能性。広域で厳重な警戒。</p> | <p>1991年6月8日の火砕流により、海岸まで火砕流の可能性ありと判断して広域規制</p> |
| 4 | <p>中～大規模噴火が発生または可能性</p> <p>中～大規模噴火、または火砕流が発生し、山頂からある程度離れた地域まで到達、または到達する可能性がある状態。</p> | <p>中～大規模噴火、または火砕流により山頂からある程度離れた地域に噴出物等による影響の可能性はある。山頂からある程度離れた地域でも警戒。</p> | <p>1663年12月噴火（古焼溶岩） 1792年2月10日噴火（新焼溶岩） 1991年5月24日火砕流 1991年6月3日火砕流（死者40、行方不明者3、負傷者9、建物被害、到達距離4.3km）等 1991年6月11日の爆発（島原市内で火山礫）</p> |
| 3 | <p>小～中規模噴火（水蒸気爆発を含む）が発生または可能性</p> <p>小～中規模噴火が発生する可能性がある状態。場合によっては溶岩ドームが崩落する可能性がある状態。</p> | <p>小～中規模噴火により山頂付近に噴石等が飛散する可能性がある。山頂に近い地域は注意。</p> | <p>1990年7月24日火山性地震増加 1990年8月30日火山性微動増加 1990年11月17日水蒸気爆発 1991年2月12日噴火 1991年5月20日溶岩ドーム出現</p> |
| 2 | <p>やや活発な火山活動</p> <p>火山性地震の増加、火山性微動の発生等、火山活動がやや活発化している状態。</p> | <p>噴火活動期への移行段階の可能性はある。</p> | <p>1990年7月4日火山性微動発生 1990年7月11日火山性地震増加</p> |
| 1 | <p>静穏な火山活動</p> <p>少量の噴気活動や火山性地震が発生するものの、噴火の兆候がない状態。</p> | <p>噴火可能性低い。</p> | <p>通常のレベル</p> |
| 0 | <p>長期間火山活動の兆候なし</p> <p>長期にわたり、噴気活動、火山性地震の発生もほとんど見られない状態。</p> | <p>噴火可能性なし。</p> | <p>1922年に発生した島原地震の10年後から1968年の群発地震まで</p> |

e) 桜島

| レベル | 火山の状態 | 噴火の形態 | 過去事例 |
|-----|--|--|--|
| 5 | <p>極めて大規模な噴火が発生または可能性 山麓での噴火、溶岩流出等大規模な噴火が発生。 または 上記のような噴火の発生する可能性を示す現象が見られる。</p> | <p>全島に噴出物等による影響の可能性があり、広域で嚴重な警戒が必要。</p> | <p>・大正噴火(1914年)(山腹から溶岩を流出、火砕流も発生) ・昭和噴火(1946年)等溶岩流出を伴うような噴火</p> |
| 4 | <p>中～大規模噴火が発生または可能性 噴石の山麓近くへの落下や小規模火砕流等噴火活動が一層活発化していることを示す現象が発生。</p> | <p>山麓に噴石が降下する可能性がある。風下側では多量の降灰の可能性がある。</p> | <p>1986年11月23日の噴火で、火口から3kmのホテルに5トンの噴石が落下等</p> |
| 3 | <p>山頂で噴火活動 小～中規模の爆発が繰り返され、活発な噴火活動が見られる。</p> | <p>山麓で火山礫等が降下する可能性がある。風下側では降灰の可能性もある。</p> | <p>通常レベル(比較的活発) 2000年10月7日の噴火等、窓ガラスや屋根、車に被害</p> |
| 2 | <p>比較的静穏な噴火活動 小規模な噴火が時折発生するものの、火山性地震・微動の発生は少ない状態。</p> | <p>山麓に火山礫等が降下する可能性は低い、風下側では降灰の可能性もある。</p> | <p>通常レベル(2～3ヶ月程度静穏な状態)</p> |
| 1 | <p>静穏な火山活動 火山性地震・微動の発生はほとんどなく、火山灰の放出もない状態。</p> | <p>噴火可能性低い。</p> | <p>1950年～1955年のうちの静穏期</p> |
| 0 | <p>長期間火山の活動の兆候なし 噴気等も見られず桜島火山活動が完全に終息した状態。</p> | <p>噴火可能性なし。</p> | <p>過去事例なし</p> |

f) 吾妻山

| レベル | 火山の状態 | 噴火の形態 | 過去事例 |
|-----|---|--|--|
| 5 | <p>広範囲まで及ぶ大規模噴火が発生または可能性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・周辺の市街地まで噴石、泥流、火砕流または溶岩流が到達して広域に影響するような大規模噴火が発生。 ・または上記のような噴火の可能性がある。 | <p>周辺の市街地まで噴石等の影響、溶岩流の流出、大規模な泥流、火砕流の発生の可能性がある。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・有史以来では事例なし |
| 4 | <p>山腹まで及ぶ中～大規模噴火が発生または可能性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山腹の居住区まで噴石が飛散、あるいは火砕流または溶岩流など、山腹まで影響するような中～大規模噴火が発生。 ・または上記のような噴火の可能性がある。 | <p>火口から8 km程度まで噴石等の影響の可能性もある。火砕流、溶岩流の発生。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・有史以来では事例なし |
| 3 | <p>山頂周辺の火口で小～中噴火が発生または可能性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地震の多発および火山性微動の連続発生。 ・地殻変動データに変化が現れる。 ・火映、鳴動が観測されるなど小～中規模噴火の発生の可能性がある。 | <p>大穴火口から火口周辺に噴石を飛散する噴火。 大穴火口以外からの噴火。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・1893年噴火 噴石放出 (1.5km) ・1950年噴火 噴石放出 (1.2km) ・1952年小噴火 ・1977年小噴火 |
| 2 | <p>やや活発な火山活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・噴気、噴煙がやや多くなり、火山性地震の増加、微動が発生するなどの変化がみられ、火山活動がやや活発である。 | <p>大穴火口付近で微小な火山灰等の噴出もあり得る。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・1966年噴気活動、地震活動活発化 ・2001年地震活動活発化 ・2004年1月地震活動活発化 |
| 1 | <p>静穏な火山活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・噴気、噴煙は比較的少なく、火山性地震の群発が時折発生するもののその規模は小さく、火山性微動の発生も少ない。 | <p>噴火の可能性低い。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・静穏な活動期 |
| 0 | <p>長期間火山の活動の兆候なし</p> <ul style="list-style-type: none"> ・噴煙がなく、火山性地震・微動もほとんど発生しない。 | <p>噴火の可能性なし。</p> | |

g) 草津白根山 (注：山頂火口とは、湯釜、水釜、濁釜の3火口をさす)

| レベル | 火山の状態 | 噴火の形態 | 過去事例 |
|-----|--|--|---|
| 5 | <p>広範囲まで及ぶ大規模噴火が発生か可能性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠方まで噴石、泥流または溶岩流が到達して広域に影響するような大規模噴火が発生。 ・または上記のような噴火の可能性がある。 | <p>周辺の市街地まで噴出物の影響大、大規模な泥流、火砕流、溶岩流の発生。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・有史以来では事例なし |
| 4 | <p>山麓まで及ぶ中～大規模噴火が発生か可能性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・居住地まで噴石が飛散。 ・小規模な火砕流、溶岩流の発生。 ・または上記のような噴火の可能性がある。 | <p>山頂火口または周辺の火口から半径 2km 程度まで噴石 (岩塊) が落下。 火砕流、溶岩流の発生。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・有史以来では事例なし |
| 3 | <p>山頂火口で小～中噴火が発生か可能性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小～中規模の山頂火口での噴火の発生 ・山頂火口以外での小規模な噴火 ・火山性地震が多発、振幅が大きく継続時間の長い微動が発生、鳴動が観測されるなど、上記のような噴火の可能性はある。 | <p>山頂火口から火口周辺 1km 程度まで噴石を飛散する噴火。 山頂火口以外からの小規模噴火。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・1882年8月 噴石 (60cm 径、距離 500m 以上)、植生破壊 ・1897年7, 8月 噴石 (150kg、距離900m) ・1902年9月 弓池の噴火 ・1932年10月 噴石 (径50cm、距離500m)、南東斜面に火口列 ・1982年12月 噴石 (火口周辺) ・1983年11月 噴石 (こぶし大、距離700m) ・1990-91年 地震、微動多発 |
| 2 | <p>やや活発な火山活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火山性地震が増加したり、微動が発生する。 ・山麓の噴気活動、地熱活動がやや活発。 ・火山ガス、地温、湯釜水温などの地球化学データが多くの観測種目で連動して、複数の項目で変化し、活動の高まりを示す。 ・火口付近だけに影響する程度の水蒸気爆発。 | <p>山頂火口付近に降灰など、若干の影響を及ぼす程度の水蒸気爆発。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・1976年3月 小規模水蒸気爆発、水釜に新火孔 ・1987年10月 地震多発 ・1989年1月 微動、湯釜変色 ・1996年2月 湯釜変色、湖水の打ち上げ |
| 1 | <p>静穏な火山活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・噴煙はみられない。 ・火山性地震が発生するが少ない。 ・山麓では噴気活動が見られる。 ・ガス観測データには活動の活発化を示す変化はない。 ・時折湯釜で浮遊物や変色水が観測される。 | <p>噴火可能性低い。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・静穏な活動期 ・1986年6月 地震多発 ・1997年5月 噴気突出、水柱 |
| 0 | <p>火山活動の兆候なし</p> <ul style="list-style-type: none"> ・噴煙がなく、周辺部含め噴気、地熱活動はみられない。 ・火山性地震はほとんど発生しない。 | <p>噴火可能性はない。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・観測開始以来事例なし |

h) 九重山

| レベル | 火山の状態 | 噴火の形態 | 過去事例 |
|-----|---|--|---|
| 5 | <p>極めて大規模な噴火が発生かその可能性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広範囲に影響があるような極めて大規模な噴火や遠方まで達するような火砕流または溶岩流が発生、または発生する可能性があり、広域で警戒が必要な状態。 | <p>噴石、火砕流等が広範囲に影響する可能性がある。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・有史以来事例なし |
| 4 | <p>中～大規模な噴火が発生かその可能性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火口からある程度離れた地域まで噴石が飛散、火砕流、溶岩が到達するような中～大規模な噴火が発生、または顕著な地殻変動が発生するなど中～大規模な噴火が発生する可能性があり、火口からある程度離れた地域でも警戒が必要な状態。 | <p>噴石が火口からある程度離れた地域（火口から3 km程度）に飛散、または火砕流等がある程度離れた地域に到達する可能性がある。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・有史以来事例なし |
| 3 | <p>小規模な噴火が発生かその可能性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火口周辺に噴石が飛散するような小規模な噴火が発生かその可能性があり、火口周辺では注意が必要な状態。 | <p>噴石が火口周辺（火口から1、2 km程度）に飛散する可能性がある。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・1995年10月～1996年4月の噴火（星生山の北東山腹で噴火） |
| 2 | <p>やや活発な火山活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・噴煙活動のやや活発化、火山性地震の増加、小規模な火山性微動の発生など火山活動がやや活発化している状態。 | <p>噴火活動への移行段階の可能性はある。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・1998年5月16日の火山性地震の増加 |
| 1 | <p>静穏な火山活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少量の噴気活動、火山性地震や微小な火山性微動が時折発生するものの噴火の兆候がない状態。 | <p>噴火の可能性は低い。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・最近数年の火山活動 |
| 0 | <p>長期間火山活動の兆候なし</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期にわたり、噴気活動がなく、火山性地震の発生もほとんど見られず、火山性微動の発生もない状態。 | <p>噴火の可能性なし。</p> | |

i) 霧島山（新燃岳）

| レベル | 火山の状態 | 噴火の形態 | 過去事例 |
|-----|--|--|--|
| 5 | <p>極めて大規模な噴火が発生かその可能性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広範囲に影響があるような極めて大規模な噴火や遠方まで達するような火砕流または溶岩流が発生、または発生する可能性があり、広域で警戒が必要な状態。 | <p>噴石、火砕流等が広範囲に影響する可能性がある。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 1716年11月の火砕流（死者5名、負傷者31名、家屋焼失600余軒） ・ 1717年9月19日の噴火、火砕流 |
| 4 | <p>中～大規模な噴火が発生かその可能性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 火口からある程度離れた地域まで噴石が飛散、火砕流、溶岩が到達するような中～大規模な噴火が発生、または顕著な地殻変動が発生するなど中～大規模な噴火が発生する可能性があり、火口からある程度離れた地域でも警戒が必要な状態。 | <p>噴石が火口からある程度離れた地域（火口から3 km程度）に飛散、または火砕流等がある程度離れた地域に到達する可能性がある。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 1959年2月の割れ目噴火（噴石、降灰多量） |
| 3 | <p>小規模な噴火が発生かその可能性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 火口周辺に噴石が飛散するような小規模な噴火が発生かその可能性、あるいは火口湖に異常が見られるなど火口周辺では注意が必要な状態。 | <p>噴石が火口周辺（火口から1、2 km程度）に飛散する可能性がある。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 1934年9月の火口湖混濁 ・ 1988年10月の地震多発 ・ 1991年11、12月の地震多発、微動、火山灰噴出 ・ 1999年11月の地震多発 |
| 2 | <p>やや活発な火山活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 噴煙活動のやや活発化、火山性地震の増加、小規模な火山性微動の発生など火山活動がやや活発化している状態。 | <p>噴火活動への移行段階の可能性はある。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 1982年2月の噴気温度の上昇 ・ 1999年9月の地震増加 |
| 1 | <p>静穏な火山活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ごく少量の噴気活動、火山性地震や微小な火山性微動が時折発生するものの噴火の兆候がない状態。 | <p>噴火の可能性は低い。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・ 最近数年（2005年1月現在）の火山活動 |
| 0 | <p>長期間火山の活動の兆候なし</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 長期にわたり、噴気活動がなく、火山性地震の発生もほとんど見られず、火山性微動の発生もない状態。 | <p>噴火の可能性なし。</p> | |

j) 霧島山（御鉢）

| レベル | 火山の状態 | 噴火の形態 | 過去事例 |
|-----|---|---|--|
| 5 | <p>極めて大規模な噴火が発生かその可能性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広範囲に影響があるような極めて大規模な噴火や遠方まで達するような火砕流または溶岩流が発生、または発生する可能性があり、広域で警戒が必要な状態。 | <p>噴石、火砕流等が広範囲に影響する可能性がある。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・788年4月18日の^{かたぎえ}片添スコリア噴火 ・1235年1月25日の高原スコリア噴火、溶岩の流出 |
| 4 | <p>中～大規模な噴火が発生かその可能性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火口からある程度離れた地域まで噴石が飛散、火砕流、溶岩が到達するような中～大規模な噴火が発生、または顕著な地殻変動が発生するなど中～大規模な噴火が発生する可能性があり、火口からある程度離れた地域でも警戒が必要な状態。 | <p>噴石が火口からある程度離れた地域（火口から3km程度）に飛散、または火砕流等がある程度離れた地域に到達する可能性がある。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・1903年11月の牛ノ^{うしのすね}臑（御鉢の東南東7km）で拳大の噴石落下 |
| 3 | <p>小規模な噴火が発生かその可能性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火口周辺に噴石が飛散するような小規模な噴火が発生かその可能性があり、火口周辺では注意が必要な状態。 | <p>噴石が火口周辺（火口から1、2km程度）に飛散する可能性がある。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・1896年3月の噴火（登山者1名死亡、1名負傷） ・1899年7月の黒煙噴出 ・2003年12月の噴気活動活発 |
| 2 | <p>やや活発な火山活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・噴煙活動のやや活発化、火山性地震の増加、小規模な火山性微動の発生など火山活動がやや活発化している状態。 | <p>噴火活動への移行段階の可能性はある。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・2002年6月の地震多発、微動発生 ・2004年2月以降の火山活動 |
| 1 | <p>静穏な火山活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごく少量の噴気活動、火山性地震や微小な火山性微動が時折発生するものの噴火の兆候がない状態。 | <p>噴火の可能性は低い。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・2000年7月～2001年9月の火山活動 ・2000年12月～2002年3月の火山活動 |
| 0 | <p>長期間火山の活動の兆候なし</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期にわたり、噴気活動がなく、火山性地震の発生もほとんど見られず、火山性微動の発生もない状態。 | <p>噴火の可能性なし。</p> | |

k) 薩摩硫黄島

| レベル | 火山の状態 | 噴火の形態 | 過去事例 |
|-----|---|---|---|
| 5 | <p>極めて大規模な噴火が発生かその可能性</p> <ul style="list-style-type: none"> 全島に影響があるような極めて大規模な噴火、あるいは大規模な火砕流や溶岩流が発生、または発生する可能性、あるいは海底噴火が発生し、島内全域で警戒が必要な状態。 | <p>噴石、火砕流等が広範囲に影響する可能性がある。あるいは大規模な海底噴火が発生する可能性がある。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 有史以来事例なし |
| 4 | <p>中～大規模な噴火が発生かその可能性</p> <ul style="list-style-type: none"> 火口からある程度離れた地域まで噴石が飛散、火砕流、溶岩が到達するような中～大規模な噴火が発生、または海底噴火、顕著な地殻変動が発生するなど中～大規模な噴火が発生する可能性があり、火口からある程度離れた地域でも警戒が必要な状態。 | <p>噴石が火口からある程度離れた地域（火口から3km程度）に飛散、または火砕流等がある程度離れた地域に到達、あるいは周辺の海底で噴火が発生する可能性がある。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 1934年の火山活動（昭和硫黄島の形成） |
| 3 | <p>小規模な噴火が発生かその可能性</p> <ul style="list-style-type: none"> 火口周辺に噴石が飛散するような小規模な噴火が発生かその可能性があり、火口周辺では注意が必要な状態。 | <p>噴石が火口周辺（火口から1、2km程度）に飛散する可能性がある。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 1998～2004年の噴火活動 |
| 2 | <p>やや活発な火山活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 噴煙活動のやや活発化、火山性地震の増加、小規模な火山性微動が発生し、ごく少量の有色噴煙を噴出するなど火山活動がやや活発化している状態。 | <p>噴火活動への移行段階の可能性はある。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 1936年の火山活動（火山性地震の増加、噴煙の増加と鳴動） 1988年1月18日の活動（ごく少量の降灰） 1998年1～3月までの活動（火山性地震の増加） |
| 1 | <p>静穏な火山活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 少量の噴気活動、火山性地震や微小な火山性微動が時折発生するものの噴火の兆候がない状態。 | <p>噴火の可能性は低い。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 1997年の火山活動 |
| 0 | <p>長期間火山活動の兆候なし</p> <ul style="list-style-type: none"> 長期にわたり、噴気活動がなく、火山性地震の発生もほとんど見られず、火山性微動の発生もない状態。 | <p>噴火の可能性なし。</p> | |

1) 口永良部島

| レベル | 火山の状態 | 噴火の形態 | 過去事例 |
|-----|--|--|---|
| 5 | <p>極めて大規模な噴火が発生かその可能性</p> <ul style="list-style-type: none"> 全島に影響があるような極めて大規模な噴火、あるいは大規模な火砕流や溶岩流が発生、または発生する可能性があり、島内全域で警戒が必要な状態。 | <p>噴石、火砕流等が広範囲に到達する可能性がある。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 有史以来事例なし |
| 4 | <p>中～大規模な噴火が発生かその可能性</p> <ul style="list-style-type: none"> 火口からある程度離れた地域まで噴石が飛散、火砕流、溶岩が到達するような中～大規模な噴火が発生、または顕著な地殻変動が発生するなど中～大規模な噴火が発生する可能性があり、火口からある程度離れた地域でも警戒が必要な状態。 | <p>噴石が火口からある程度離れた地域（火口から3 km程度）に飛散、または火砕流等がある程度離れた地域に到達する可能性がある。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 1841年8月の噴火（集落焼失、死者多数） 1931年4月の噴火（火口から北西約2kmの向江浜に噴石飛散、負傷2） 1933年12月の噴火（七釜集落全焼、死者8、負傷26） 1966年11月の噴火（火口から3.5km地点に直径1mの噴石飛散、負傷3） |
| 3 | <p>小規模な噴火が発生かその可能性</p> <ul style="list-style-type: none"> 火口周辺に噴石等が飛散するような小規模な噴火が発生かその可能性があり、火口周辺では注意が必要な状態。 | <p>噴石が火口周辺（火口から1、2 km程度）に飛散する可能性がある。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 1945年の割れ目噴火 1968年12月～1969年3月の噴火 1972年9月の噴火 1973年11月の噴火 1974年6月の噴火 1976年4月の噴火 1980年9月の割れ目噴火 2004年2月～3月の火山性地震の多発 |
| 2 | <p>やや活発な火山活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 噴煙活動のやや活発化、火山性地震・微動が増加するなど火山活動がやや活発化している状態。 | <p>噴火活動への移行段階の可能性はある。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 1932年7月の噴煙、鳴動 1982年10月の新噴気孔生成 1991年12月の噴煙 1996年3月、1999年8月、2000年1月、2003年2～4月の火山性地震の増加 |
| 1 | <p>静穏な火山活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 少量の噴気活動、火山性地震や微小な火山性微動が時折発生するものの噴火の兆候がない状態。 | <p>噴火の可能性は低い。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 1992年11月～1999年9月の火山活動 2000年7月～2003年1月の火山活動 2003年11月～2004年1月の火山活動 |
| 0 | <p>長期間火山の活動の兆候なし</p> <ul style="list-style-type: none"> 長期にわたり、噴気活動がなく、火山性地震の発生もほとんど見られず、火山性微動の発生もない状態。 | <p>噴火の可能性なし。</p> | |

m) 諏訪之瀬島

| レベル | 火山の状態 | 噴火の形態 | 過去事例 |
|-----|--|--|---|
| 5 | <p>極めて大規模な噴火が発生かその可能性</p> <ul style="list-style-type: none"> 全島に影響があるような極めて大規模な噴火、あるいは大規模な火砕流や溶岩流が発生、または発生する可能性があり、島内全域で警戒が必要な状態。 | <p>噴石、火砕流等が広範囲に到達する可能性がある。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 1813年の噴火（文化溶岩流、全住民が島外避難） |
| 4 | <p>中～大規模な噴火が発生かその可能性</p> <ul style="list-style-type: none"> 火口からある程度離れた地域まで噴石が飛散、火砕流、溶岩が到達するような中～大規模な噴火が発生、または顕著な地殻変動が発生するなど中～大規模な噴火が発生する可能性があり、火口からある程度離れた地域でも警戒が必要な状態。 | <p>噴石が火口からある程度離れた地域（火口から3 km程度）に飛散、または溶岩流等がある程度離れた地域に到達する可能性がある。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 1884年の噴火（明治溶岩流） |
| 3 | <p>小規模な噴火が発生かその可能性</p> <ul style="list-style-type: none"> 火口周辺に噴石が飛散するような小規模な噴火が発生かその可能性があり、火口周辺では注意が必要な状態。 | <p>噴石が火口周辺（火口から1、2 km程度）に飛散する可能性がある。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 1921年の噴火 1922年～1925年の噴火 1938年の噴火 1940年の噴火 1949年の噴火（黒煙、鳴動、地震、地割れ） 1950年～1954年、1956年～2000年の時々の噴火 2001年～2004年の噴火 |
| 2 | <p>やや活発な火山活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 噴煙活動のやや活発化、火山性地震・微動が増加するなど火山活動がやや活発化し、ごく少量の有色噴煙を噴出する状態。 | <p>噴火活動への移行段階の可能性はある。</p> | <ul style="list-style-type: none"> 1998年の火山活動 |
| 1 | <p>静穏な火山活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 少量の噴気活動、火山性地震や微小な火山性微動が時折発生するものの噴火の兆候がない状態。 | <p>噴火の可能性は低い。</p> | |
| 0 | <p>長期間火山活動の兆候なし</p> <ul style="list-style-type: none"> 長期にわたり、噴気活動がなく、火山性地震の発生もほとんど見られず、火山性微動の発生もない状態。 | <p>噴火の可能性なし。</p> | |